

ニホンカナヘビ

澄川作業日 2012 年 7 月 13 日。前回残した薪作りに取り掛かろうと、材を動かしたところ、「カナヘビがいる」と近くにいた石川さんの声がしました。キマワリがうろろしている所以他们を狙うカナヘビがいるのも不思議ではないので、確認のためデジカメで撮影しました。未だ気温の上昇しない 10 時前頃でしたので、静止してくれました。

カナヘビは科名で種名はニホンカナヘビといいます。ヘビではなく、トカゲの仲間です。立派な四足があります。トカゲとカナヘビの区別はどうなっているのかが良くわかりません。帰宅後に調べてみました。トカゲも科名で種名ではありません。世界にはトカゲ科はわんさか種類がありますが、北海道でお目にかかれるのはニホントカゲです。区別はニホンカナヘビとの比較でニホントカゲの方がずんぐり体型で尻尾の色がブルーで輝いています。成体はブルーが薄れ、熟年になるにつれ終には消えるようです。動作はニホントカゲの方が敏捷で、ニホンカナヘビはややおっとりしているようです。北海道ではカナヘビの方が多いような気がします。両者ともに分布はほぼ日本本土です。

この連中自身が口に入れられる大きさの昆虫やミミズなどを狩りますが、他方で鳥や小獣たちに狩られる立場で、片時も油断できなく、忍者のような雰囲気です。



ニホントカゲ

この秋に設立 10 年記念行事をやるについて、参加者の手土産のひとつに自家製木炭を考えていますので、キマワリが棲み付いたボケ材を材料にするのは止めにして、最近の冬季に伐採したミズナラ材を使うことになり、この日の参加者全員で集材、小玉切り、小割りをほぼ 1 窯分作りました。炭焼きは例年どおり、7 月末日にホタル鑑賞を兼ねて行う予定です。